

松名瀬干潟フィールドワーク

さあ！ さあ！
準備はいいかな？



私学フェアで発表

松名瀬干潟って？

1. 学校紹介
 ①学校法人梅村学園 三重中学校・高等学校
 ●松阪市久保町
 ●中高一貫六年制
 生徒数: 797人
 (2017.7.19現在)
 ●校訓 真剣味
 ●四大綱
 ・ルールを守る
 ・ベストを尽くす
 ・チームワークを作る
 ・相手に敬意を持つ

2. 三重中・高等学校科学技術部
 ●部員 43人(2017.7.19現在)
 顧問 4人
 ●活動内容
 ・松名瀬干潟での調査
 ・環境学習
 ・学会での発表
 ・数学、化学
 ・森林について(別のポスターに記載)

3. 松名瀬干潟について
 ●松阪市・榑田川の河口に位置する
 ●三種の干潟の紹介

潟湖干潟

- 泥の干潟。
- 巻貝やカニがたくさんいる。

河口干潟

- 川と海の間にある砂の干潟。
- 貝やカニがたくさんいる。

前浜干潟

- 海に面している干潟。
- アサリなどの貝がとれる。

3つが揃っているのはとても貴重

私学フェスタ
2017/7/23(日)
三重中学校・高等学校 科学技術部

4. 調査をするきっかけ
 ●2001年 三重大学 木村妙子准教授と
 モニタリングサイト1000(中高生でも調査可能)
 ●現在の調査
 中学生・・・ウミナ類の分布
 高校生・・・ウミナ類の移動

5. ウミナ類について

●ヘナタリ
殻の口が三角形

●フトヘナタリ
殻先が欠けている
殻の口が丸い

●ウミナ
白い層がある

●ホソウミナ
白い層がない

6. 調査について
 各地点(下記の図参照)の5カ所に50cm四方
 の方形枠を置き、地表の生き物(表在)と地中
 の生き物(埋在)を採る。

●C-2
●C-1 前浜
●B-2
●B-1 河口

環境の変化は微妙で、昨日今日ではそう変わったようには見えません。しかし、長く調査を続け、その記録を考察すると、そこにははっきりした変化が見えてくるのです。

小西先生は言います。

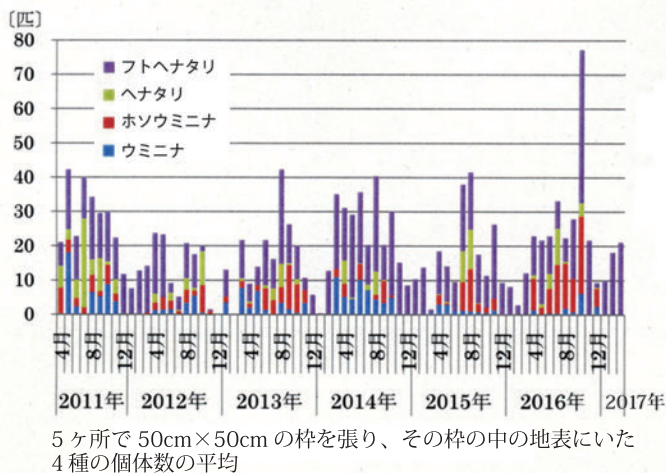
三重中学校・高等学校には、重高等学校には、小西先生が顧問を務める科学技術部があります。

三重中学校・高等学校は私学で教員の異動がなく、中高一貫教育のため、生徒たちは6年間同じ調査や研究ができ、多くのデータから考察できることが強みだと、小西先生は言います。



① 松名瀬干潟案内看板作りに協力

潟湖におけるウミナ類の個体数の変化



- ②④ 生物相調査 GPSで毎回同じ場所を特定し、いきものの種類を調べ、ていねいに個体の数を数えたり、サイズを計ったりする。
- ③ 毎月大潮の時にとっている、7年目のデータ
- ⑤ 環境省調査「モニタリングサイト1000」に参加

